

長生炭鉱水没事故 81 周年 犠牲者追悼集会

2023 年 2 月 4 日 (土)

参加費無料 (カンパをお願いします)

今回は 3 年ぶりに韓国より犠牲者遺族参加予定!

第一部 11:00~12:00 追悼式 会場 長生炭鉱追悼ひろば

オンラインでも視聴できます

<https://youtu.be/hggBKbEo6uA>



第二部 14:00~16:30 遺骨収集と返還に向けての市民交流集会

会場 ヒストリア宇部(宇部市新天町1丁目) **※要申し込み**

オンラインでも視聴できます

<https://youtu.be/EdKW6054nuY>



会場にお越しの方は、当日は検温、消毒、マスク着用にご協力をお願いします。

なお、第二部については、定員 75 名です。

できるだけ事前に、電話か E-mail か申し込みフォームから
お申し込みください。(当会 HP にも申し込みリンクが貼ってあります)

会場参加申し込みフォーム



※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては変更が生じる場合もあります。あらかじめご了承ください。

【主催】長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会(共同代表 井上洋子 佐々木明美)

<https://www.chouseitankou.com/>

事務局 755-0031 宇部市常盤町 1-1-9 宇部緑橋教会内

[Tel&Fax] 0836-21-8003 [Mail] chouseitankou@gmail.com

ちょうせいたんこう
長生炭鉱水没事故

床波海岸の海から突き出ている二本のピーヤ（排気・排水筒）は、かつて、この地に長生炭鉱という海底炭鉱があった名残です。

1942年2月3日朝、坑口からおよそ1km付近の坑道の天盤崩壊で海水が浸入し、坑内労働者183人が犠牲になりました。そのうち136人は日本が植民地支配した朝鮮半島から強制連行された、あるいは生活苦から渡日を余儀なくされた朝鮮人でした。

この事故は戦争遂行のために安全を度外視して石炭を掘り続け、「尊い命」が犠牲となった人災であると言わざるを得ません。今なお、183人の犠牲者全員の遺体は冷たい海の底に眠ったままです。

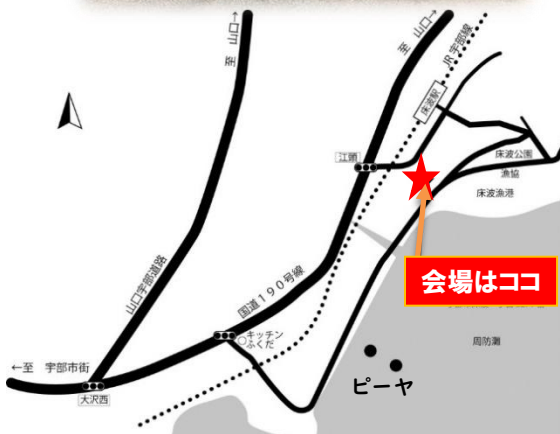
当時、事故の詳細は市民には知らされず、長い間、この事実は闇に葬られていましたが、市民の手で史実が明らかになり、1992年より事故の日に合わせて韓国から犠牲者遺族を招いて追悼集会（追悼式）を開催するようになりました。そして、2013年には念願の追悼碑を建立し、「長生炭鉱追悼ひろば」と名付けました。現在は、追悼式をこの追悼ひろばで行っています。

追悼ひろばにはピーヤ（排気口）を模した朝鮮人犠牲者追悼碑と日本人犠牲者追悼碑の二つの追悼碑があります。二つの追悼碑は二つで一つの追悼碑です。朝鮮人・日本人183人の犠牲者の名前が刻まれています。過去の歴史を反省し、乗り越えて日韓・日朝が仲良くなれるようにとの願いが込められています。

第一部 長生炭鉱追悼ひろば

11:00～12:00

宇部市床波1丁目3271番
※床波漁協前



第二部 ヒストリア宇部

14:00～16:30

宇部市新天町1丁目1
☎0836-37-1400

